

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（売場主 任）	それ以外	・各コーナー、各ブランドで今年の傾向等を打ち出し た企画を開催し、ダイレクトメールを出して来店を促 している。
	やや良く なっている	百貨店（店長）	販売量の動き	・9月の売上は前年比110%と好調である。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・残暑のためにまとめ買いが目立ち、前年比105%と やや良くなっている。
		家電量販店（店 長）	お客様の様子	・高額商品の液晶テレビ、プラズマテレビ等が売れ始 めてきている。
		その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕（営業担 当）	販売量の動き	・秋冬を迎えるに当たり、暖房用燃料等の販売量が 徐々に増加してきているので、やや良くなっている。
		通信会社（社 員）	販売量の動き	・新規加入数に大幅な伸びはないが、9月の月間目標 は達成する。エリア拡大、新機種発売により、第三 世代携帯電話の加入者数が増加している。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・入場者数が前年同月比で1割以上増加している。食 堂部門の大幅な単価上昇が、客単価の底上げに貢献し ている。
	変わらない	その他サービ ス〔自動車整備 業〕（事務長）	来客数の動き	・最近、車検戻り年の兆候が若干見受けられる。
		商店街（代表 者）	単価の動き	・量販店と差別化するため、例年よりも品質、単価が 一段高い秋物を選んで仕入れたものの、客は安価な商 品に向かっている。
		スーパー（経営 者）	販売量の動き	・9月は8月同様、農作物及び海産物の販売量が減少 している。特に農作物の減少が響いたことから、全体 の売上が前年割れとなっている。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・8月から気温の変化が激しく、客は何を食べるか 迷っている。急にうどんが売れたり、冷やし中華はな いかと聞かれたり、非常にやりづらい状況である。
		スーパー（販売 担当）	販売量の動き	・この3か月の売上は良くも悪くもないが、夏場から 9月にかけての天候不順で季節衣料の売行きは非常に 悪く、販売数量も少ない。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・9月は残暑が厳しく、前年に比べ、ドリンク、調理 麺類が売れている。他はほとんど変わらない。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・単価が高い商品と極端に低い商品が売れている。販 売量は変わらないが、単価が若干上がっている。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・とにかく毎月宣伝をしないと売れないので、自 転車操業的に広告費を使って売っている状況である。この 2～3か月の販売量は横ばいで、新車は全く売れな い。
高級レストラン （店長）		販売量の動き	・9月前半は残暑が厳しく、客が外出を控える傾向が 強かった。中旬からは予約も入り、客足は回復したも の、前年を下回っている。	
観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・来客数は前年比1～2%増であるが、客単価が下 がっており、実績は前年に届か届かないかという金 額である。宿泊単価はほぼ横ばいであるが、宿泊付き 帯単価が下がっている。		
都市型ホテル （スタッフ）	単価の動き	・バブル期は7,000円程度であった宿泊単価が、現在 は6,300円を維持するのがやっとである。		
旅行代理店（経 営者）	単価の動き	・SARS（新型肺炎）の問題も一段落し、秋の行楽 シーズンが始まり、例年は単価が上がる時期だが、3 か月前と比べて変わっていない。		
旅行代理店（従 業員）	単価の動き	・旅行業界も深刻なデフレで、宿泊料は下がる一方 である。なおかつ、安い商品しか売れない。		
タクシー運転手	お客様の様子	・地元の会社も経費節約でタクシーを使わなくなっ ている。		
タクシー運転手	来客数の動き	・地域の全社が料金を競争前に戻し、実質値上げに なると初めての1か月であるが、売上は増加してい ない。選挙の影響と1メートルの客がやや減少したこ とが原因である。		
通信会社（営業 主任）	お客様の様子	・電気通信系では、情報インフラの普及で爆発的にパ ソコンが売れ、通信事業者への新規加入があったが、 現在は買換え需要が多く、伸び率は停滞している。		

	観光名所（職員）	お客様の様子	・厳しい残暑の日があったが、旅館、ホテル、レストラン関係は、期待したほどの売上はなく、例年を若干下回っている。	
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・周辺のゴルフ場すべてにおいて、プレー料金が前年より安くなっており、残暑も少なかったことから、来場者数は安定してきている。また、時代を反映してか、県内でゴルフ場の車上荒らし、クラブの盗難事件が多発している。	
	競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価とも引き続き減少傾向にある。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・夏場が悪かったが、9月に入っても、土日に運動会等の行事に出かけてしまうからか、あまり良くなっていない。	
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・周囲の設計事務所は、大変忙しいか全然仕事がないかに分かれ、二極化の状況である。	
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・9月発表の県基準地価がまた下落し、販売単価も下落ムードである。実勢価格は路線価がベースになるが、前年度から15%も低下したケースもある。	
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・土地の値下がりが続いており、今までは考えられないような坪単価も出てきている。賃貸のアパート、ビル等は借り手市場で、値引き競争が激化している。飲食店等の引き合いが以前よりはやや増加しているが、オフィスビル等は依然として悪いまま変わっていない。	
やや悪くなっている	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・冷夏や残暑で衣料品が低迷し、売上がダウンしている。	
	スーパー（統括）	販売量の動き	・天候、気温の変化で来客数が安定せず、販売予測との差が大きくなっている。秋物の動きは、8月末に気温が低下したので例年より10日ほど早かったものの、9月の厳しい残暑で売れず、短命で終わる見込みである。	
	スーパー（経営企画担当）	それ以外	・来客数、販売量、単価とも1%台ずつ下がり、前年比95%となっている。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客が時間をかけてでもスーパー等で安いものを購入しているせいか、夕方から夜にかけての来客数が減少している。	
	衣料品専門店（統括）	お客様の様子	・夏から秋にかけて、各地で祭りが盛大に行われているが、今年は客の購買意欲がやや落ち込んでいる。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年9月は中間決算の関係で、3月に次いで販売台数が増える月であるが、今年は一向に増えていない。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会の動きは前年より若干良い程度で、売上自体はあまり落ちていないが、この2～3か月フリー客が減少している。街の中に人がいない。	
	スナック（経営者）	競争相手の様子	・酒を飲む人口が少ない割には店舗が多く、過当競争になっている。	
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・前年と比較すると、来客数が1割減、単価は微減となっている。	
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・長期金利が上昇しても、将来への不安が拭えないせいか、当地域では反応がなく、客からの問い合わせ等が増加していない。	
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・全国焼物市を盛大に行っているが、客はまばらで、安い物がわずかに売れるのみである。出展者もこの地域は売行きが悪いと言っている。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・周辺に出店した大型ショッピングセンター、アウトレット店の影響で、集客数がかなり減少している。11月末にも大型店の出店が予定されているので、一層厳しい。	
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・運動会があるこの時期は、以前なら何もしなくても生活できたが、今年は販売量が全く増加せず、食べていけない状態である。	
	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・周辺に量販店が立て続けに開店している。相次ぐ開店チャシの打撃は大きい。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・このところ、昼夜とも来客数が減少している。なかなか景気は良くならない。	
企業動向関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ニューモデル車の発売に伴う量産のため、3か月前と比較し約10%、前年比で約15%の売上、受注増になっている。
	やや良く なっている	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・多くの取引先が秋冬物の切替えを行い、貨物量が増加している。

	金融業（融資担当）	取引先の様子	・来店する客の話では、パソコンの改正リサイクル法が施行されるので今のうちに買うという人も多く、引き続きデジタル関連の商品、DVDレコーダー、デジタルカメラを買う人が増えている。消費が増えてきている。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・3か月前の6月は、地元で比較的大型の倒産等が相次いだ。最近はやや安定している。上半期にあった生活資金のための預金解約も落ち着き、預金残高は堅調に推移している。	
変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内の販売は依然として悪いまま推移している。台湾、韓国の半導体の需要が良いのか、外国からの注文で何とかやっている。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年通りの動向であるが、ホームページを通じて大口の飛び込み受注がきている。	
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・親会社は中国等アジアでのコストと比較した上で、厳しいコストダウンを求めており、合理化や設備投資をしても対応が難しい。収益面では悪化傾向にあり、今後もこの状況は続く。	
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	取引先の様子	・中国向け建設機械部品等、引き続き好調で、今まで取引のなかった先からも見積依頼が来ている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・2年間取引のあった会社の仕事が減り、応援に出していた社員も引き上げることになった。一方、自動車関連の仕事は、5～7月には全くなかったが、現在は激しい勢いで受注が出始めている。設備関連の仕事がなくなったので、売上は激減する。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大分、仕事が出てきているものの、金額が安く、仕事をしても赤字になるという状況が続いている。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	それ以外	・業者対象の2つの展示会に参加したが、来場者数はいずれも前年の1割以上回っている。来場者の滞留時間は長く、新しい物を真剣に探す意欲が感じられたが、本格的に回復するには、まだ時間が必要である。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦への広告受注は、例年のペースで上がっており、単価が若干下がり気味であるが、受注量でカバーできる見込みである。求職者のマインド低下、あきらめからか、求人情報誌の反響がやや鈍っている。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・県の統計などでは、設備投資も若干上向きと出ているが、見積の件数は、まだそのような状況にはなっていない。3か月前と比べて物件が少ない。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車、電気等の製造業からのコマースは横ばいであるが、商業、通信業、流通業からのスポットコマースが減少している。7～9月までの売上高は、前年同期比で約3%減となっている。	
悪くなっている	建設業（総務担当）	取引先の様子	・民間工事の受注において、自社管理部門で工事を実施するからと、材料のみの見積を頼まれた。1か月経過したが、材料の注文がまだ来ていない。	
雇用関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・このところ派遣需要の急激な増加が目立っている。業務内容は、インストラクター（市町村合併による新規ソフト導入が背景）、コールセンター要員、施工管理士、調査要員、ソフトの評価業務など、特殊なものも多く、一般、営業事務などのいわゆる事務系職員は皆無である。景気が不透明な中、新規の社員採用を控え、短中期の外部スタッフで乗り切ろうという姿勢がうかがえる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・大型のショッピングセンターが11月末に開店するため、前年比で求人依頼が増加している。大型店本体で500名、テナントは約1,000名の求人があるが、本体の500名の募集に対し1,300名の応募が来ており、かなり動きが良い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で新規求人が18.3%増、有効求人は28.8%増と、それぞれ11か月連続での増加となっている。

	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・依然として求人は派遣が多く、正社員採用に慎重な姿勢は変わっていない。建築関係は低迷状態から脱せずにいる。その一方、大手製造業を中心として回復傾向にあり、中小零細企業についてはこれから効果が出てくる。
変わらない	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・前年同月比での紹介件数は5か月連続で増加しているが、就職者数は4か月連続で減少している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・従来動きと全く同じで、新規求人数が減少し、就職者数が増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・一般の常用求人が減少し、パート、請負、短期契約のアルバイトでカバーする傾向にある。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・取引先企業の倒産や、今までずっと広告を掲載していたスポンサーの広告取り止めで、やや悪くなっている。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・景気不透明感により、販売、製造業を中心として、派遣、パート、アルバイト等で適宜対応を考えている企業が目立つ。
悪くなっている	-	-	-